

| | |
|--------------------|----------------------|
| 前奏 黙想 | 祈 禱 |
| 頌 栄 541 父、み子、みたまの | 讚 美 歌 142 さかえの主イエスの |
| 祈 禱 | 献 金 |
| 信仰告白 使徒信条 566 | 讚 詠 547 いまささぐるそなえものを |
| 聖 書 詩編 51:16~19 | 黙 禱 |
| マタイによる福音書 6:29~34 | 主の祈り 564 |
| 讚 美 歌 87B めぐみのひかりは | 頌 栄 544 あまつみたみも |
| 説 教 『ダビデそしてソロモン』 | 祝 禱 |
| 長崎 哲夫 牧師 | 後 奏 |

前回、イスラエルは海の民、鉄器を使う民ペリシテに対抗する為ラマのサムエルに、他国のように裁きを行う王を求めて、軍事態勢を初めて組織した（Ⅰサム 8:3）と言った。つまりイスラエルはこの段階で「神の民」から、世俗一般体制に切り替わったのだ。この結果サムエルは外見だけの第一代王にサウルを選任して(1020~1000)、失敗したが、第二代王ダビデ時代は(1000~961)イスラエルの民衆に信頼を得、史上最大かつ最良の国力と「ダンからベエルシバまで」(Ⅱサム 3:10)の全領土を誇った。ダビデに生涯紆余曲折はあったが、見るべきものの一つは先見者ガドの忠告でエブス人アラウナの麦打ち場を自ら買取り、主のために祭壇を築き、焼き尽くす献げものと和解の献げものを献げ、其処を後のソロモン神殿としたことだ(Ⅱサム 24:24)。これはダビデのソロモンへの最大の遺産となり、ソロモンも父ダビデの意思抜きに王としての役目は果たせなかった(Ⅱ歴代 8:1)。「焼き尽くす献げもの」とは何か。詳細は旧約レビ記に明かだが、人の罪を贖うために祭司は、無傷の家畜を臨在の幕屋の祭壇で全部を焼き尽くし、燃やして主に献げる宥めの香りである(レビ 1:9)。

持てるもの「全部」を神に献げることがダビデは、「もしいけにえがあなたに喜ばれ、焼き尽くす献げ物がみ旨に叶うものなら、わたしはそれを献げます。しかし、神が求めるいけにえは、打ち砕かれた霊、打ち砕かれ悔いる心を神よあなたは侮られません」(詩篇 51:18)と祈った。だが人は「焼き尽くす献げ物」(燔祭)を献げれば彼の諸々の罪は赦されるものなのか。否である。燔祭が「全て」の意味なら、それは人の存在が問われるのではないか。「兄弟たち、神の憐れみによってあなた方に勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生ける生贄として献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です」(ロマ 12:1)と伝道者パウロは言った。

列王記上 1~11 はソロモンに関する記述である。ソロモンは父ダビデの栄誉と栄光の全てを頂いて生涯それを負った武人である。確かに。ソロモンの知恵は神の知恵をいただいたものであり、イスラエル史上稀な豊かさと政治的安定を産み出した(5, 1)。更に神殿創建完工を成し、自ら大祭司として民のため祈る人でもあった(8:2)。しかしソロモンについて主イエスは山上の垂訓で、「栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つ程にも着飾ってはいなかった」(マタ 6:29)とその地上的な繁栄を評価しない。ダビデにはヘブロン(Ⅱサム 3:2)とエルサレム(同 5:13)に多くの家族、義兄弟がいた。ソロモンは母バテシバの第二子としての重荷があった。その間隙を縫って義兄アドニヤが王位継承を狙った経緯もあった(Ⅰ列 1:5)、その上彼には700人の王妃、300人の側室がいたという(Ⅰ列 11:3)。色々な意味はあるだろうがそれらは多宗教を産み出し、エジプトやクエの馬等広範の交易と軍事力強化にも結ばれる。

以降イスラエルは南北に分裂、歴代の王たちの乱脈は遂にアッシリアによる北王国サマリアの陥落(BC722)、セナケリブのユダ進入(701)、南王国へのバビロニア王ネブカデネザルのユダ侵攻とエルサレム陥落(Ⅱ歴代 36, 15)、遂にイスラエルは捕囚の徒(ディアスポラ)に陥った(597, 587, 682)。その後約半世紀を経てペルシャ王クロスは彼らを釈放(538)、エルサレム神殿修復の願いをかなえさせた(エズ 1:3)。イスラエル・ユダヤ人の悲劇は正にここにあった(哀歌 3:1)。

本日は長崎哲夫牧師が説教して下さいます。長崎牧師の次の説教は5/26です。本日2:30から分
区委員会(南甲府教会)。3/27(水)1:00~2:00 聖研・祈祷会。次主日3/31は復活祭、聖餐式もおこ
ないです。簡素な祝会も予定。教会総会は4/21の礼拝後、会員の方は都合つけておいて下さい。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。